

山西省絶景探訪

豊田美紀

山西省絶景探訪

豊田美紀

中国では10月に国慶節があります。中国の建国記念日です。今年は69回目の記念日とのことです。「母なる祖国おめでとう！」と中国人の友人が話していたことが印象的でした。毎年、中国では10月1日の国慶節にあわせて1週間ほどの休暇があります。

国慶節の時期は山西省では秋も真っ盛りです。街路樹も紅葉する時期なので街並みも綺麗です。気候も良く秋晴れの穏やかな日々が続きます。

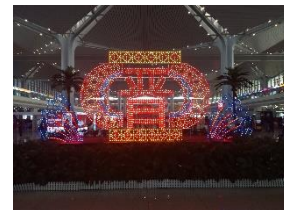
国慶節は山西大学でもクラスが休みになります。せっかくの機会なので、この休暇中に私も友人とリフレッシュの時間を設けました。

そこで、10月のレポートでは「山西省絶景探訪」と題して、名所のことなどお話しさせていただきます。今回はその第一弾です。

日本を発つ前に、山西省の観光名所に係るガイドブックが欲しかったのですが、情報が多く掲載されている本が見つからなかったもので、先ずは、ここ太原で山西省のガイドブックを購入しました。今はインターネットでの情報収集も可能ですが、太原での暮らしに係る思い出の一つとして本を選びました。勿論、全て中国語で書かれたものなので勉強にも繋がります。



山西省は「晋」という愛称で人々に親しまれています。その由来は悠久中国の古代史に遡るところとされています。また、その当時、晋国が黄河の支流のほとりに晋陽城を築いたことが、ここ太原の始まりとされているそうです。太原は2500年を超える悠久の歴史がある街です。また『三国志演義』の作者といわれる羅貫中を輩出した街とのことです。



今回は、ここ太原の名所「双塔寺」を紹介させていただきます。太原八景の一つと言われているそうです。神社仏閣を訪ねることが好きな私には、山西省の観光名所の中では外せない場所の一つです。双塔寺へは、私が住んでいる山西大学商務学院からはバスを乗り継いで1時間程度で行くことができます。

双塔寺の原名は「永祚寺」といいます。創建されたのは1599年です。お寺の中に二つの塔がそびえ立っていることから双塔寺と呼ばれているそうです。境内の建築物は全てれんが造りです。大雄宝殿では三世如来像（阿弥陀仏・釈迦牟尼・薬師如来）を拝することができます。私も拝んで来ましたが、日本の仏像とは少し異なるお姿でした。

お寺の端にある二つの塔は八角13層とのことです。建築の構成が精巧で素晴らしいと感じました。日本の寺院とは異なる美しさがあり、その見上げる高さは圧巻でした。塔の内部には階段があり拝観できます。せっかくなので螺旋状の石段を最上階まで上って来ま

した。塔内には小窓があり、そこからは太原市内を一望のもとに見渡すことができます。歴史ある建造物の中に佇み、遠目に現代の街並みを眺める感覚がタイムスリップしているようで不思議でした。双塔寺の境内には牡丹園があります。毎年6月頃、牡丹の季節になります。その時期に牡丹を背景とした双塔寺を是非訪ねてみたいと思っています。



山西大学での留学生活も2カ月が経ちました。これから前期クラスも後半に入ります。過ぎてみると早いものです。10月も後半になると季節の進み方が一気に早まります。日本より一足先に晩秋が訪れ、冬の到来も間近です。

10月は学校でもクラスの輪ができ始めたように感じます。朗らかな先生や仲間に囲まれています。バスでの通学にも慣れて自分なりに日常生活のペースが出来ました。

勉強に関しては、難しい科目もあるのでひたすら精進し努力あるのみです。



ルームメイトや友人たちとの友情も深まりつつあります。一緒にハロウィンや誕生日を過ごしました。時には過酷だと感じる日々の生活もルームメイトとのチームワークで乗り切って過ごしています。良い仲間恵まれ感謝の毎日です。